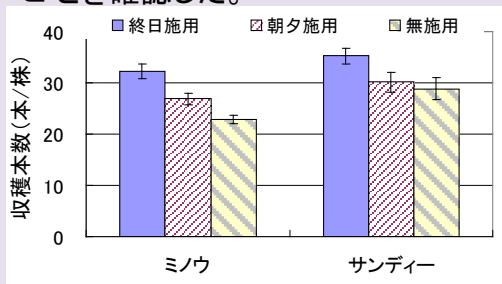


【全体概要】

施設花き栽培における花き類の生産性向上を図るため、静岡県農林技術研究所が開発した切り花（ガーベラ等）への炭酸ガス施用による生産性及び品質向上技術の迅速な普及に向けたコンソーシアムの形成に取り組んでいる。

新品種・新技術等の概要

- ・炭酸ガス施用により、ガーベラでは20～40%収穫本数が増加するとともに、切花重の増加と切り花品質の向上を確認した。
- ・バラでは、切り花のボリュームが増加し、上位階級の発生率が向上することを確認した。



ガーベラへの炭酸ガス施用により収穫本数が増加

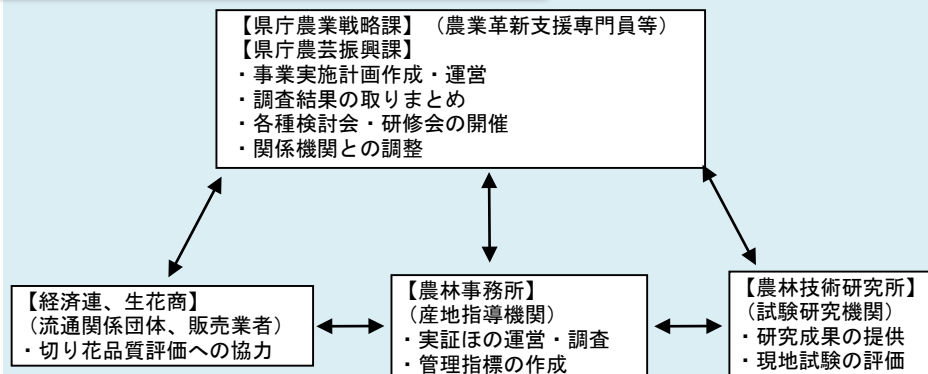


バラへの炭酸ガス施用でボリュームUP

主な取組内容

- ・ガーベラ、バラにおける炭酸ガス施用方法やその効果について、県内27ヶ所で現地調査を実施した。
- ・調査結果について、生産者や関係者による検討会を開催し、最も効率的と考えられる炭酸ガス施用方法について検討した。また、研修会を開催し、炭酸ガス施用や環境制御技術に関する情報共有を図った。
- ・ガーベラ、バラについては、炭酸ガス施用マニュアルを作成し、生産性及び品質向上技術の迅速な普及を図った。
- ・経済連、花き市場連等の実需者を含めた検討会を開催し、炭酸ガス施用の有効性を情報共有した。また、検討会や研修会の継続実施を提案し、新技術導入に関するコンソーシアム形成への意識醸成を図った。

コンソーシアム候補の体制図



実績と今後の展開

- ・ガーベラ、バラにおける炭酸ガス施用方法やその効果について現地調査を実施した。
ガーベラ17ヶ所、バラ10ヶ所
- ・現地調査結果を基に、適正な炭酸ガス施用の方法について検討し、ガーベラ、バラについて炭酸ガス施用マニュアルを作成した。
- ・研修会を開催し、環境制御技術に関する情報や、炭酸ガス施用による生産性及び品質向上技術の迅速な普及を図った。
炭酸ガス施用面積 H26 14.4ha(42.5%) → H30 14.7ha(44.6%)
()はガーベラ・バラの県花き施設栽培面積に対する割合
- ・今後、更に炭酸ガス施用や環境制御技術などの新技術導入に関する検討会、研修会を継続的に実施し、効率的な複合環境制御による生産性及び品質向上技術の迅速な普及を図る。